

なごやにおける参加型会議の先行例

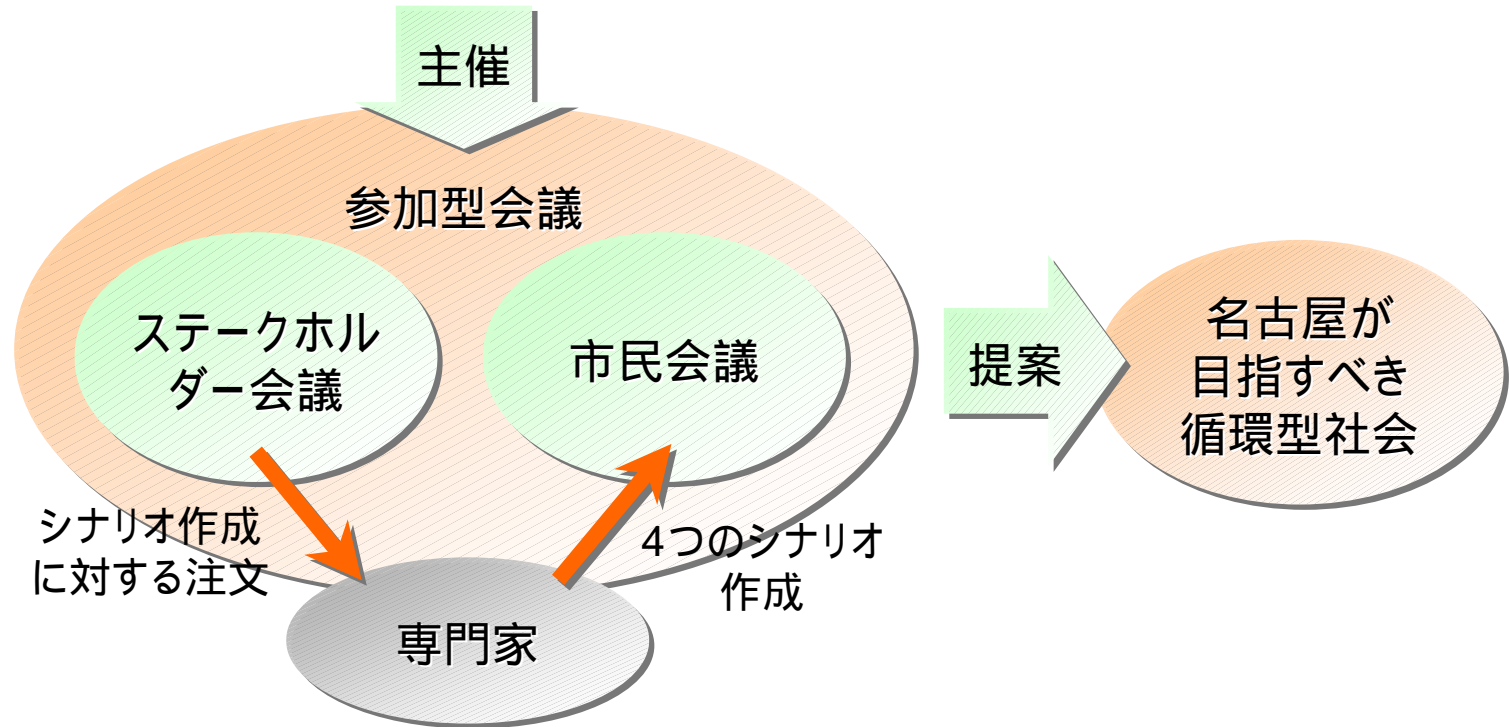
『市民が創る循環型社会フォーラム(JST研究)』 の開催について

循環型社会は、市民の積極的な取組参加がなければ実現しません。そのためには、地域の構成員である企業、NPO、市民等が、循環型社会のビジョンづくりや実現方策の検討に、主体的に関わっていくことが必要です。そして、それを可能とする方法の開発が必要です。

このような問題意識の下に、2002～05年に名古屋をフィールドに、多くの立場の方々の協力の下に社会実験研究を実施いたしました。

1. 『市民が創る循環型社会フォーラム』の取り組み(H15-16)

市民が創る循環型社会フォーラム実行委員会
(行政・企業・NPO・研究者などで構成)



この取り組みは、名古屋大学を中心とする**研究(社会実験)の一環**として実施
『市民参加による循環型社会の創生に関する研究』
(独)科学技術振興機構 / 社会技術研究システム・研究領域「循環型社会」 / H14-17

2. ステークホルダー会議により出された専門家への注文

ステークホルダー会議の流れ

名古屋のごみ情報の共有

名古屋のこれまでの取り組みの評価

「名古屋が目指すべき循環型社会の方向」の討議

「目指すべき循環型社会」についての方向の明確化
(専門家によるシナリオ案作成に対する「注文」)

専門家への「注文」

負担の衡平性が重要。このことを的確に判断できるようなシナリオが必要。

シナリオの相違による、市民の暮らしがどう変わるかを明確にすること。

地域社会・個人レベルでの積極的な取り組みが報われるシナリオを検討すべき

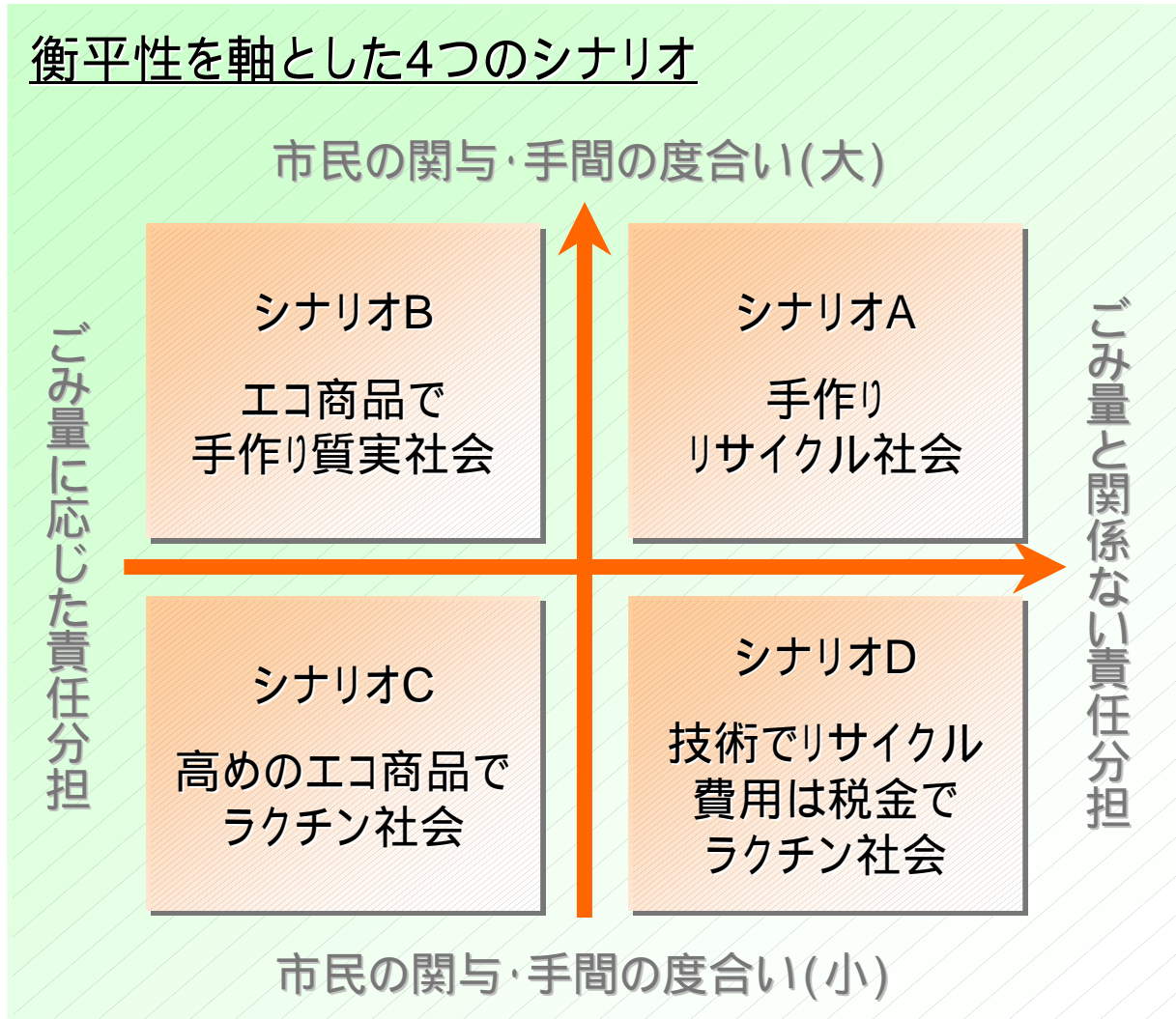
生ごみや有機性廃棄物のリサイクルについて検討が必要

焼却の是非についての検討が必要

地産地消、再生可能資源を用いたエコ商品づくり等の生産者の取り組みも検討すべき。

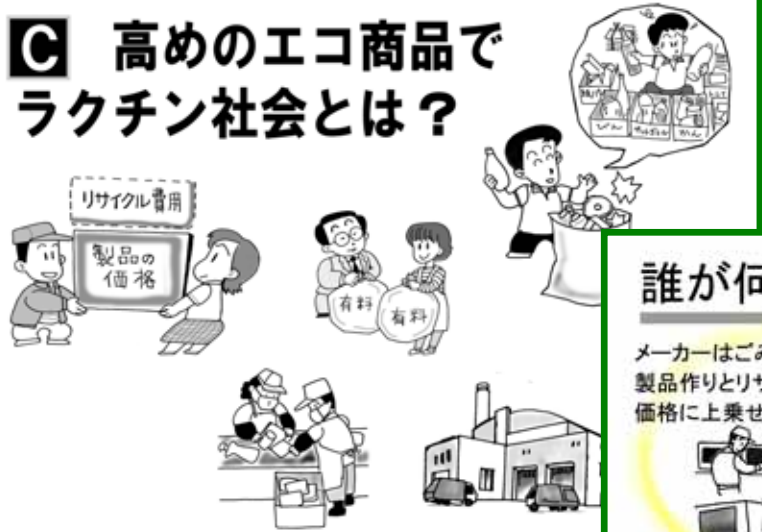
すべてのシナリオにおいて環境影響・コスト等を明確にすること。

3. ステークホルダーからの「注文」からシナリオ案へ



4. 市民会議におけるシナリオ案の説明

③ 高めのエコ商品でラクチン社会とは？



誰が何を？

メーカーはごみの出ない
製品作りとリサイクル料金を
価格に上乗せする



製品別リサイクルシステム



壊れた家電製品や
家具などは、販売店の修理コーナーや
引き取りコーナーへ



デポジット制

室内で利用する缶や
ペットボトルはすべて
リターナブル容器に
変わります

分別しなくてもよいので
作業もシンプルで
部屋もすっきり



仕事の煩雑さと
ごみの置き場の
ストレスから解放

紙やプラスチックの
容器包装もまとめて
“混合資源”として
出します



既に
リサイクル
料金は支払済み

“混合資源”は
施設で分別



可燃ごみと
不燃ごみは
まとめて“混合ごみ”
として
出します



無料袋を
使い切ったら
有料袋で

24時間ごみ回収
ステーション



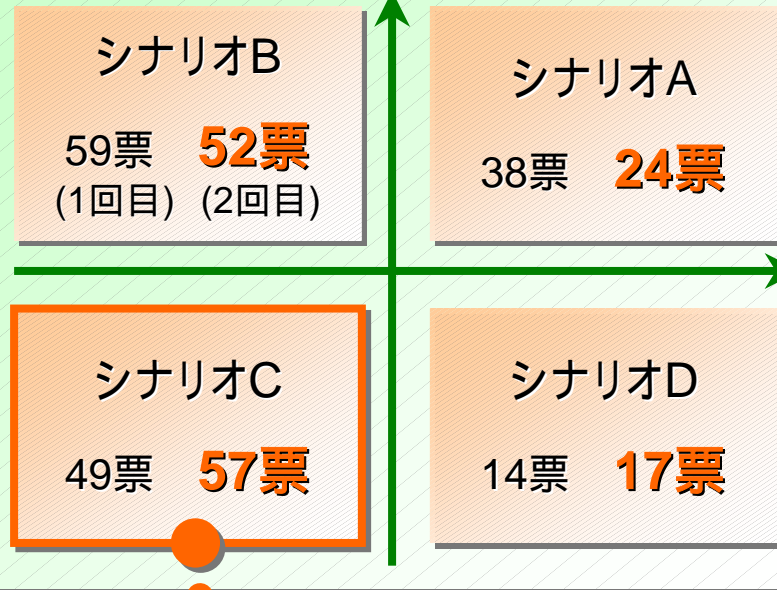
リサイクル料金は
既に支払済み

可燃ごみや不燃ごみを
まとめてエネルギーに
かえる施設



5. 市民会議におけるシナリオ案の選択・改善

市民会議での選択(重み付け投票)



シナリオ案の改善

資源ごみは混合せず、
現行の分別を踏襲！
さらなる分別徹底を！

...

...

24時間資源ステーションは設置場所、運営方法などの検討を！

6. 市民が創る循環型社会フォーラムによる提案

ステークホルダーによる注文 → 専門家によるシナリオ案作成 → 市民会議での選択と改善

有効分別とエコ商品で創りあげる循環型社会

～名古屋で活動するすべての人々の協働の取り組みと公平な負担に基づいて～

基本の考え

10～15年後の実現が目標

公平な責任分担が重要

企業によるエコ商品・リサイクルシステム運営と、市民の有効分別が柱

リサイクルは企業、ごみは排出者が量に応じて負担

環境負荷軽減は当然、埋立量の最小化を重視

新しい社会の仕組み

拡大生産者責任徹底
(エコ商品開発とリサイクル)

24時間資源回収ステーションの導入

屋内消費の飲料容器は全てリターナブル
(デポジット制度の導入)

ごみ有料化の導入

今後の課題

生ごみの分別・リサイクル

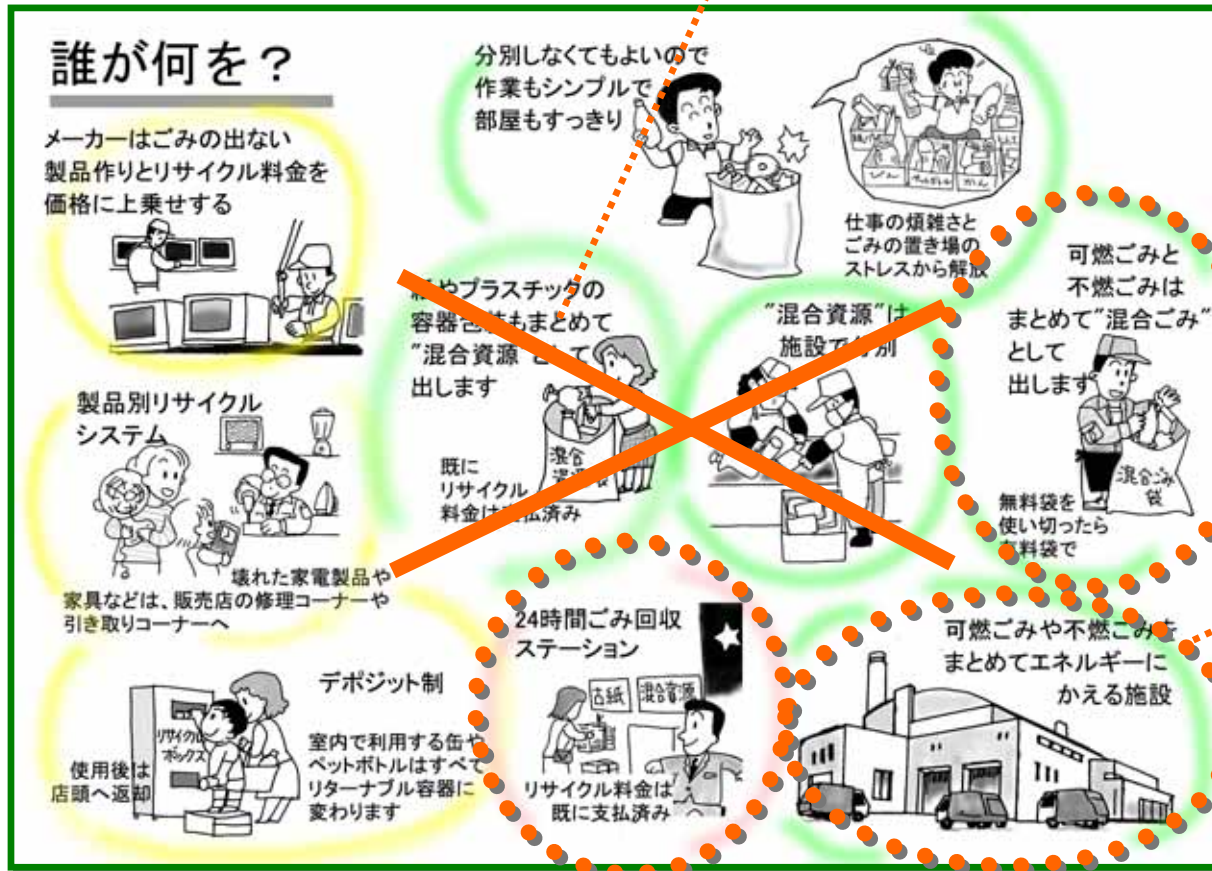
ガス化熔融炉の技術的検討

24時間ステーション設置・運営

資源回収の頻度・密度

7. 市民が選んだ循環型社会の最終イメージ

資源物は現在の方法を踏襲！（混合にしない）



混合ごみのうち、**生ごみ**は、分別・リサイクルの検討が必要！

ガス化溶融技術は、**安全性等**の検討が必要！

設置場所・運営方法についての検討が必要！